

**お台場旧防波堤（鳥の島 2 島）における鳥類のモニタリング調査
冬季調査（1 月）報告書**

平成 31 年 2 月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 31 年 1 月 28 日（月）	8 : 00～13 : 00	曇り

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（1）船上センサス

鳥の島の 2 島の 50 m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50 m（両側 100 m）とした。

（3）定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は 50 m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

（4）任意観察調査

鳥の島の 2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、10 目 19 科 29 種が確認された（表 2）。
- 確認種の半数は水域やその周辺に生息する鳥類であり、マガモやセグロカモメ、ハクセキレイなど 14 種が確認された。島内の樹林では、シジュウカラやウグイス、メジロなど森林やその周辺に生息する鳥類が 7 種確認された。そのほか、猛禽類であるノスリやハヤブサ、都市部でも見られるキジバトやハシブトガラスなどが確認された。
- 渡り区分別にみると、ツグミやアオジなどの冬鳥（ある地域で冬に見られる種）が多く、カルガモやヒヨドリなどの留鳥（ある地域で一年中見られる種）も確認された。
- 重要種はスズガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、オオバン、イソシギ、ノスリ、ハヤブサ、イソヒヨドリの合計 8 種が確認された（表 2）。島内では、ノスリとそれに対して排斥行動をとるハヤブサが確認されたほか、護岸周辺にとまるイソシギやイソヒヨドリ、採餌するオオバンが確認された。島周辺の海域では、群れで遊泳するスズガモや、単独で遊泳するウミアイサ、カンムリカイツブリが確認された。
- 確認した重要種のうち、特に選定基準上の重要度が高い種としては、**ノスリ、ハヤブサの 2 種**が挙げられる。2 種ともに東京都の絶滅危惧 IB 類に該当する。
- 外来種は確認されなかった（表 2）。
- 確認個体数が特に多かった種はカワウ、スズガモ、ユリカモメ、オオバンの 4 種であった。カワウは、船上センサスでは 2 島で合計 92 個体（表 3）、ラインセンサスでは合計 90 個体（表 4）が確認され、優占度は東島で 54%、西島で 64%を占めたほか、定点観察調査では合計 48 個体（表 5）が確認された。スズガモは、船上センサスでは合計 158 個体、定点観察調査では合計 252 個体が確認された。ユリカモメは、ラインセンサスでは合計 22 個体が確認され、優占度は東島で 12%、西島で 17%を占めたほか、定点観察調査では合計 31 個体が確認された。オオバンは、船上センサスでは合計 27 個体、定点観察調査では合計 30 個体が確認された。
- カワウはこの時期多くのペアが求愛・造巢の繁殖ステージにあると思われる、今回の調査では巣材を運搬する成鳥の姿が確認された。一方で、少数ではあるものの巣上で雛が親鳥に給餌を求める様子も確認された。

(2) 前回調査との比較

- 平成 29 年の秋季（10 月）～平成 30 年の夏季（7 月）までの調査を第 3 回、平成 30 年の秋季以降の調査を第 4 回とし、第 3 回と第 4 回の冬季調査の結果を比較した。表 6 に確認種の比較、表 7～9 は手法別に、表 7 に船上センサス結果、表 8 にラインセンサス結果、表 9 に定点観察調査結果の比較をそれぞれ示した。確認種数は、第 3 回では東島で 28 種、西島で 31 種、合計 35 種、第 4 回では東島で 25 種、西島で 21 種、合計 29 種であった（表 6）。第 3 回の確認種（35 種）のうち、7 割の種（25 種）は第 4 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 今回の冬季調査で初めて記録された種はシメであった（表 10）。シメは任意調査中、東島の樹林上空を鳴きながら飛翔する個体が確認された。本種は冬鳥であり、樹林環境に餌場を求めて出現した可能性がある。
- 今回の調査ではスズメが 1 例も確認されなかった。過去にスズメが 1 例も記録されなかった回はなく、また比較的高い優先度を占めてきた種であった。例えば、ラインセンサス結果を比較すると、前回は東島で 57%、西島で 36%と高い優占度を示したが、今回は確認がなかったため 0%となった（表 8）。島内の環境に関して、秋季調査時と比べ大きな変化は見出せなかった。そのため、減少の一因としては秋季報告書で述べたように、スズメの餌場となる低茎草地が、草刈などの植生管理によって一時的に消失しているためであると思われる。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目	科	種	調査時期		重要種選定基準			
				冬季(1月)		①	②	③	④
				東島	西島				
1	カモ	カモ	オカヨシガモ		○				
2			マガモ		○				
3			カルガモ	○	○				
4			ホシハジロ	○					
5			スズガモ	○	○				留意
6			ウミアイサ	○	○				DD
7	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○	○				留意
8			ハジロカイツブリ		○				
9	ハト	ハト	キジバト	○	○				
10	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
11	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
12	ツル	クイナ	オオバン	○	○				VU
13	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
14		カモメ	ユリカモメ	○	○				
15			セグロカモメ	○	○				
16	タカ	タカ	ノスリ	○					EN
17	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	○			国内	VU	EN
18	スズメ	カラス	ハシブトガラス	○	○				
19		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
21		ウグイス	ウグイス	○					
22		メジロ	メジロ	○	○				
23		ヒタキ	ツグミ	○	○				
24			ジョウビタキ	○					
25			イソヒヨドリ		○				DD
26		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
27		アトリ	カワラヒワ	○					
28			シメ	○					
29		ホオジロ	アオジ	○					
合計	10 目	19 科	29 種	25 種	21 種	0 種	1 種	1 種	8 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)

天: 天然記念物 特: 特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号; 平成 23 年改訂)

国内: 国内希少野生動物 国際: 国際希少野生動物

③「第 5 次レッドリストの公表について」(平成 30 年、環境省)における掲載種

EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 IA 類 EN: 絶滅危惧 IB 類 VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧種 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)~」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種

EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 IA 類 EN: 絶滅危惧 IB 類 VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 留意: 留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				冬季(1月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	2	2
2			マガモ	0	2	2
3			ホシハジロ	1	0	1
4			スズガモ	11	147	158
5			ウミアイサ	2	0	2
6	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	1	1
7			ハジロカイツブリ	0	1	1
8	ハト	ハト	キジバト	1	1	2
9	カツオドリ	ウ	カワウ	31	61	92
10	ペリカン	サギ	アオサギ	2	2	4
11	ツル	クイナ	オオバン	13	14	27
12	チドリ	カモメ	セグロカモメ	1	0	1
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	1	4
14		シジュウカラ	シジュウカラ	0	1	1
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	2	4
16		セキレイ	ハクセキレイ	0	1	1
17		アトリ	カワラヒワ	2	0	2
合計	8 目	12 科	17 種	69	236	305

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				冬季(1月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0%	1	1%	1
2		ウ	カワウ	40	54%	50	64%	90
3	ツル	クイナ	オオバン	1	1%	5	6%	6
4	チドリ	カモメ	ユリカモメ	9	12%	13	17%	22
5			セグロカモメ	4	5%	3	4%	7
6	タカ	タカ	ノスリ	1	1%	0	0%	1
7	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	4%	0	0%	3
8		シジュウカラ	シジュウカラ	2	3%	1	1%	3
9		ヒヨドリ	ヒヨドリ	5	7%	1	1%	6
10		ウグイス	ウグイス	1	1%	0	0%	1
11		メジロ	メジロ	5	7%	2	3%	7
12		ヒタキ	ツグミ	1	1%	1	1%	2
13			ジョウビタキ	2	3%	0	0%	2
14		セキレイ	ハクセキレイ	0	0%	1	1%	1
合計	5 目	12 科	14 種	74	100%	78	100%	152
				12 種		10 種		14 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				秋季（10月）				
				東島		西島		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	カルガモ	4	0	0	0	4
2			スズガモ	1	0	3	248	252
3			ウミアイサ	1	1	1	0	3
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	1	0	1	0	2
5	カツオドリ	ウ	カワウ	12	10	15	11	48
6	ペリカン	サギ	アオサギ	0	4	0	0	4
7	ツル	クイナ	オオバン	6	12	2	10	30
8	チドリ	シギ	イソシギ	2	0	0	1	3
9		カモメ	ユリカモメ	0	26	5	0	31
10			セグロカモメ	0	0	0	2	2
11	タカ	タカ	ノスリ	0	1	0	0	1
12	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	0	1	0	0	1
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	1	0	2	3	6
14		シジュウカラ	シジュウカラ	6	0	0	0	6
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	2	1	1	6
16		メジロ	メジロ	2	0	0	0	2
17		ヒタキ	ジョウビタキ	0	1	0	0	1
18		セキレイ	ハクセキレイ	3	1	1	2	7
19		アトリ	カワラヒワ	2	0	0	0	2
合計	9 目	16 科	19 種	43	59	31	278	411

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 前回調査結果との比較（冬季）

No.	種名	調査時期			
		冬季（1月）			
		第3回（H29～H30）		第4回（H30～）	
		東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ		○		○
2	マガモ		○		○
3	カルガモ	○	○	○	○
4	オナガガモ	○	○		
5	ホシハジロ		○	○	
6	スズガモ	○	○	○	○
7	ウミアイサ			○	○
8	カンムリカイツブリ	○	○	○	○
9	ハジロカイツブリ				○
10	キジバト	○	○	○	○
11	カワウ	○	○	○	○
12	アオサギ	○		○	○
13	オオバン	○	○	○	○
14	イソシギ	○	○	○	○
15	ユリカモメ	○	○	○	○
16	カモメ	○			
17	セグロカモメ	○	○	○	○
18	オオセグロカモメ	○	○		
19	ミサゴ		○		
20	トビ	○	○		
21	オオタカ	○			
22	ノスリ	○		○	
23	チョウゲンボウ		○		
24	ハヤブサ			○	
25	モズ	○	○		
26	ハシブトガラス	○	○	○	○
27	シジュウカラ	○	○	○	○
28	ヒヨドリ	○	○	○	○
29	ウグイス	○	○	○	
30	メジロ	○	○	○	○
31	ムクドリ	○	○		
32	ツグミ	○	○	○	○
33	ジョウビタキ		○	○	
34	イソヒヨドリ		○		○
35	スズメ	○	○		
36	ハクセキレイ	○	○	○	○
37	カワラヒワ	○	○	○	
38	シメ			○	
39	アオジ	○	○	○	
合計	39 種	28 種	31 種	25 種	21 種
		35 種		29 種	

表 7 前回調査との比較：船上センサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期			
		冬季(1月)			
		第3回 (H29～H30)		第4回 (H30～)	
		東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ	0	2	0	2
2	マガモ	0	6	0	2
3	カルガモ	0	7	0	0
4	オナガガモ	2	0	0	0
5	ホシハジロ	0	4	1	0
6	スズガモ	25	32	11	147
7	ウミアイサ	0	0	2	0
8	カンムリカイツブリ	0	0	0	1
9	ハジロカイツブリ	0	0	0	1
10	キジバト	0	4	1	1
11	カワウ	45	90	31	61
12	アオサギ	1	0	2	2
13	オオバン	1	7	13	14
14	ユリカモメ	2	5	0	0
15	セグロカモメ	1	1	1	0
16	オオセグロカモメ	0	1	0	0
17	トビ	0	1	0	0
18	オオタカ	1	0	0	0
19	ノスリ	1	0	0	0
20	ハシブトガラス	1	2	3	1
21	シジュウカラ	4	2	0	1
22	ヒヨドリ	9	7	2	2
23	ツグミ	0	2	0	0
24	スズメ	7	0	0	0
25	ハクセキレイ	0	0	0	1
26	カワラヒワ	5	4	2	0
合計個体数		105	177	69	236
合計島別種数		14 種	17 種	11 種	13 種
合計種数		22 種		17 種	

表 8 前回調査との比較：ラインセンサス結果（冬季）

No.	種名	調査時期							
		冬季(1月)							
		第3回(H29~H30)				第4回(H30~)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カンムリカイツブリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
2	キジバト	3	2%	9	6%	0	0%	0	0%
3	カワウ	27	22%	22	15%	40	54%	50	64%
4	オオバン	0	0%	0	0%	1	1%	5	6%
5	ユリカモメ	1	1%	26	18%	9	12%	13	17%
6	セグロカモメ	1	1%	0	0%	4	5%	3	4%
7	ノスリ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
8	モズ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
9	ハシブトガラス	1	1%	2	1%	3	4%	0	0%
10	シジュウカラ	2	2%	2	1%	2	3%	1	1%
11	ヒヨドリ	10	8%	10	7%	5	7%	1	1%
12	ウグイス	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
13	メジロ	2	2%	0	0%	5	7%	2	3%
14	ツグミ	0	0%	20	14%	1	1%	1	1%
15	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
16	スズメ	70	57%	53	36%	0	0%	0	0%
17	ハクセキレイ	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%
18	カワラヒワ	2	2%	2	1%	0	0%	0	0%
19	アオジ	2	2%	1	1%	0	0%	0	0%
合計	19 種	122	100%	148	100%	74	100%	78	100%
		12 種		11 種		12 種		10 種	

表 9 前回調査との比較：定点観察調査結果（冬季）

No.	種名	調査時期															
		秋季（10月）															
		第3回（H29～H30）								第4回（H30～）							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	オカヨシガモ	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	9%	0	0%	0	0%	0	0%
3	スズガモ	2	3%	1	5%	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%	3	10%	248	89%
4	ウミアイサ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1	2%	1	3%	0	0%
5	カンムリカイツブリ	1	2%	0	0%	2	2%	0	0%	1	2%	0	0%	1	3%	0	0%
6	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	17	23%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	カワウ	27	47%	12	60%	75	63%	14	19%	12	28%	10	17%	15	48%	11	4%
8	アオサギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	7%	0	0%	0	0%
9	オオバン	1	2%	0	0%	2	2%	0	0%	6	14%	12	20%	2	6%	10	4%
10	イソシギ	0	0%	1	5%	1	1%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	1	0%
11	ユリカモメ	7	12%	0	0%	14	12%	27	36%	0	0%	26	44%	5	16%	0	0%
12	セグロカモメ	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%
13	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	ノスリ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
15	ハヤブサ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
16	ハシブトガラス	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	2	6%	3	1%
17	シジュウカラ	2	3%	1	5%	0	0%	0	0%	6	14%	0	0%	0	0%	0	0%
18	ヒヨドリ	6	10%	2	10%	1	1%	9	12%	2	5%	2	3%	1	3%	1	0%
19	ウグイス	0	0%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	メジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%
21	ツグミ	0	0%	2	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
22	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
23	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	スズメ	0	0%	0	0%	23	19%	4	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
25	ハクセキレイ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	3	7%	1	2%	1	3%	2	1%
26	カワラヒワ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%
27	アオジ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	27 種	58	100%	20	100%	119	100%	75	100%	43	100%	59	100%	31	100%	278	100%
		13 種		7 種		8 種		8 種		13 種		10 種		9 種		8 種	

表 10 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 4 回)

No.	種名	調査時期							
		第 1 回 (H27 夏～28 春)		第 2 回 (H28 秋～29 夏)		第 3 回 (H29 秋～30 夏)		第 4 回 (H30 秋～)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○
2	マガモ		○	○	○		○	○	○
3	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
4	オナガガモ				○	○	○		
5	コガモ							○	
6	ホシハジロ						○	○	
7	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ウミアイサ		○					○	○
9	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ミミカイツブリ			○					
11	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○
13	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ゴイサギ					○			
15	ササゴイ		○						
16	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
17	ダイサギ	○	○	○	○	○	○		
18	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	
19	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○
20	コチドリ	○	○		○	○	○		
21	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○
22	キョウジョシギ					○	○		
23	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○
25	カモメ	○	○			○			
26	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
27	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○		
28	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		
29	ミサゴ	○		○			○		○
30	ハチクマ	○							
31	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○
32	ハイタカ		○		○				
33	オオタカ	○		○	○	○	○		○
34	ノスリ		○	○	○	○		○	
35	カワセミ			○			○		
36	チョウゲンボウ		○				○		
37	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○
38	モズ			○	○	○	○	○	○
39	カケス				○				
40	オナガ			○	○	○	○		
41	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○

表 10 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 4 回)

No.	種名	調査時期							
		第 1 回 (H27 夏～28 春)		第 2 回 (H28 秋～29 夏)		第 3 回 (H29 秋～30 夏)		第 4 回 (H30 秋～)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
42	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○
43	ヒバリ						○		
44	ツバメ	○	○	○	○	○	○		
45	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	
47	オオムシクイ								○
48	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
49	オオヨシキリ			○		○			
50	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		
51	コムクドリ				○	○			
52	シロハラ	○	○	○	○				
53	アカハラ	○			○				
54	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○
55	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○
56	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○
57	キビタキ	○				○			
58	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
59	キセキレイ			○					
60	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
61	セグロセキレイ				○				
62	タヒバリ						○		
63	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
64	シメ							○	
65	ホオジロ	○		○	○				
66	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	
67	オオジュリン			○					
68	ドバト	○	○					○	
合計	68 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	33 種	31 種

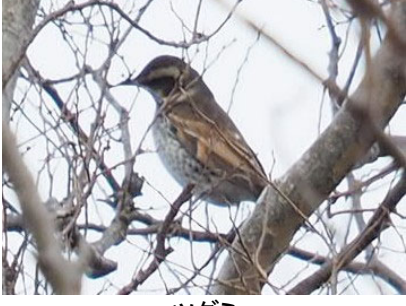
 スズガモ(重要種)	 ウミアイサ(重要種)
 カワウ(巣上の親と雛)	 オオバン(重要種)
 イソシギ(重要種)	 セグロカモメ
 ハヤブサ(重要種)	 メジロ
 ツグミ	 アオジ

写真 2 鳥の島で確認された主な鳥類